



ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、語り合う会 Vol.14

ギャラクシー賞ラジオ選奨委員会では、聴く機会の少ないギャラクシー賞の入賞作品を聴いて、その制作者にお話を伺い、ともに語り合う会を毎年開いています。

今回は、第48回ギャラクシー賞ラジオ部門で入賞した下記の2作品を試聴いただくとともに、番組や制作に関して、自由に意見を交換し、語り合いたいと考えています。参加をご希望の方はこの用紙に必要事項をご記入の上、**ファクスにてご返送下さい。**

ラジオ関係者はもとより、多方面からのご参加をお待ちしております。

試聴番組とゲスト

◆「FMシアター 薔薇のある家」優秀賞受賞作

奈良岡朋子、大竹しのぶ。日本を代表する二人の女優が、「往年の大女優」と「彼女の付き人で元女優」を演じるという設定のラジオドラマ。女優・里村千鶴子(74)と付き人の夏子(46)は、都内の高層マンションで暮している。以前は薔薇の咲く鎌倉の家に住んでいた。ある日、千鶴子は、依頼された舞台の役を引き受けたいと言う。夏子は、千鶴子の足のケガを理由に反対する。そんな夏子を、千鶴子は、「あなたは私を怨んでいる。だから私が女優に復帰するのを邪魔するんだ」と責める。だが、公演は半年前に終わっていた。混濁する記憶に、女優の執念と悲しみが交錯する人間ドラマ。

ゲスト: NHK/ディレクター 江澤俊彦さん

◆「ゴールデンアワー」優秀賞受賞作

ラジオが元気な沖縄で、ひととき存在感を示すワイド番組。月曜から金曜の午後、パーソナリティーの西向幸三が日替りアシスタントを相手に繰り広げるトークは、全編自由で闊達な「明るさ」に満ちている。この日のアシスタント糸数美樹とのかけあいは絶妙で、沖縄訛りが、どこかとぼけた味を醸し出す。3月11日の東日本大震災のあと、西向は携帯ラジオを届けるために被災地の仙台に飛び、現地のFM局の声を沖縄のリスナーに伝えた。おかしみと元気さの中に、人間的な温かさがにじみ出て、ぐいぐいリスナーを引きつける。沖縄でしか創りだせない味わいと魅力を堪能できるこれぞワイドの中のワイド!

ゲスト: エフエム沖縄/アナウンサー 西向幸三さん

◇日時 10月2日(日)午後1時～午後5時 開場:午後12時30分

～会場アクセス～

西武池袋線「江古田」駅北口下車 徒歩3分

◇会場 日本大学芸術学部(江古田校舎)

南棟地下1階 録音スタジオ A

◇参加費 無料

◇協力 日本大学芸術学部

◇主催・問い合わせ

NPO法人 放送批評懇談会 ラジオ選奨委員会

TEL.03-5379-5521

▼申し込み記入欄 (※切:9月27日

但し、定員になり次第締め切らせていただきます)

FAX 03-5379-5510 (放送批評懇談会 事務局)



お名前	所属
連絡先	

*複数名ご参加の方は、お手数ですが、この用紙をコピーの上、お申し込みください。

切り取らずにこのままFAXしてください!